

サロンサクランボで炊き出し訓練を実施！



3月19日（火）のサロンでは、日本赤十字社の方にご指導していただき、炊き出し訓練を実施しました。西石井公園には、かまどベンチがあり、それを利用して、ご飯を炊いておにぎりを作ってみました。また段ボールベッドを組み立てたり非常時における訓練を体験することができました。4月17日未明に起きた地震は、愛媛県愛南町・高知県宿毛市で震度6弱を観測。いつ来てもおかしくない地震、慌てず動ける人になるには、学び・訓練を継続することが大切です。



公園のベンチが、かまどに変身！
ご飯を炊くことができました。
みんなで協力することが大切です。



第37回松山市民生児童委員会

6月7日（金）約800人の民生児童委員がコミセンに集い、松山市民生児童委員会が開催され、地域で活躍する83名の方々が表彰されました。

また、講演では、「歌う防災士 しほママ」で知られる柳原志保氏による「もしもに備えるいつも～活かそう！わたしたちの力を～」と題してお話をいただきました。東日本大震災、熊本地震、R2.7月の豪雨と3回の大災害を被災した経験から得た災害対応力を強化する知識を女性の視点からお話しされました。大地震後に、トイレに水を流すのはNG！ということで♪かんたんトイレづくりのうた♪防災さんぽなど美しい歌声と共に、防災についてためになるお話を聞くことができました。

石井西地区で表彰された5名の皆さんです。おめでとうございます。

○優良民生児童委員表彰

大河内八千代さん・西口多恵子さん・丸井圭子さん・矢野幸江さん・山下鈴子さん



民生児童委員交代のお知らせ

4月1日から朝生田町の民生児童委員が交代しました。よろしくお願いします。

大野信吾さん（退任）→ 玉川 緑さん（新任）



編集後記

福祉だより85号をお届けします。今年も暑い日が続いていますね。熱中症にならないようエアコンをうまく使用しましょう。

家の中でも、外出の時でも、のどの渇きを感じていなくても、こまめに水分・塩分を補給し、十分ご注意ください。

今年もサマーフェスティバルに参加します！

8月17日（土）石井小学校運動場でサマーフェスティバルが開催されます。石井西社協でも昨年同様、かき氷、ジュース、輪投げのブースを出店します。皆様、お待ちしております！



本誌に関するお問い合わせは、 (石井西地区社協会長 高市宅) まで

Eメール：nisisyakyou30925@gmail.com

～石井西 やすらぎの町 愛の町～

石井西の福祉だより

第85号（令和6年7月1日発行）

石井西地区人口 28,713 人
男 13,615 人
女 15,098 人
65歳以上 7,480 人
高齢化率 26.05 %
（令和6年4月1日現在）

発行所：石井西地区社会福祉協議会

令和6年度定期理事会・評議員会を開催



4月26日（金）に、第1回定期理事会、5月8日（水）に評議員会を開催し、すべての議案について全会一致で承認されました。令和5年度は、制限されていた事業が復活再開し、計画した事業に加え、各種の研修プログラムや大会への参加、他団体行事への参加協力にも力を入れた1年でした。そういった中で幼児から小学生親子を対象にした「親子防災講座」を新規事業として立ち上げたこと、また、例年実施してきた「キッズサポーター養成講座」を初めて石井北小学校でも開催できたこと、オンラインによる「子育てパパ&ママのための防災講座」を令和4年度に続いて開催できたことは大きな成果でした。令和6年度は、第3期地域福祉活動計画の集大成の年にあたります。各事業の方向性（拡大・縮小・継続など）を見極め、各町の福祉ニーズや課題を参考に第4期計画を策定し、令和7年度以降の活動につなげていきたいと思ひます。

ター養成講座」を初めて石井北小学校でも開催できたこと、オンラインによる「子育てパパ&ママのための防災講座」を令和4年度に続いて開催できたことは大きな成果でした。令和6年度は、第3期地域福祉活動計画の集大成の年にあたります。各事業の方向性（拡大・縮小・継続など）を見極め、各町の福祉ニーズや課題を参考に第4期計画を策定し、令和7年度以降の活動につなげていきたいと思ひます。

第3回「子育てパパ&ママのためのオンライン防災講座」

テーマは、『災害から子どもの未来と命を守る！』

4月17日未明に愛媛県と高知県で震度6弱の揺れを観測した地震。

いつ起きてもおかしくない状況に備え、乳幼児がいる家庭特有の備蓄や適切な避難について私たちと一緒に楽しく学びましょう。

ご家族で気軽にご参加ください。

- ◆ 日 時 令和6年9月21日（土）10:00～11:30
- ◆ 会 場 自宅にて参加（Zoomによるオンライン講座）
- ◆ 対象者 石井西地区在住の、未就学児や児童のいるご家庭の方
- ◆ 募集人数 30組（定員になり次第締め切らせていただきます）
- ◆ 講 師 松山市民防防災安全課 奥宮啓介先生・防災士 石井けいこ先生



※ QRコードまたは下記のURLよりお申し込みください。
お申込み・お問合せ <https://forms.gle/oFF1h2kNjEkG7uEP7>

申込み受付後、事務局より参加方法等についてメールをお送りします。

- ※ 申込期間 令和6年8月1日（木）～9月15日（日）
- ※ 準備物 インターネット環境（Wi-fi推奨・通信料はご負担ください。）
パソコンもしくはスマートフォンやタブレット

【連絡先】石井西地区社会福祉協議会 Mail：nisisyakyou30925@gmail.com



夏休み企画・親子防災講座『楽しく学ぼう！防災ゲーム』

- ◆ 日 時 令和6年7月23日（火）9:30～11:30
- ◆ 会 場 古川ふれあいセンター（ゲーム）古川集会所広場（ツイストパン）
- ◆ 対象者 石井西地区在住の、5才～小学生のいるご家庭の方
小学生3年生までは、大人同伴でご参加ください。

※ QRコードまたは下記のURLよりお申し込みください。（7/21まで）
お申込み <https://forms.gle/qKyDrkp5GLY7daMC6>





石井地区協力会員研修会 「地域で支えるヤングケアラー」

～私たち（地域）でできること「気づき」「つなぐ」「見守り」～

3月6日（水）10：00から石井支所会議室において、民生児童委員と見守り員・サロン関係者が協力会員研修会に参加しました。

今回は、松山市役所 こども家庭部 子ども総合相談センターから岡田春美氏と友近裕識氏をお迎えして、「子ども総合相談センターについて」「ヤングケアラー支援について」ご講演いただきました。



ヤングケアラー支援について

ヤングケアラーとは…

家族のために、大人がするような家事や家族の世話などを日常的にしているこどものこと

愛媛県の現状（R4のアンケート）

ヤングケアラーの自覚

家族のお世話をしている	小学生（5・6年生）	約10人にひとり
	中学生	約25人にひとり
	高校生（全日制）	約50人にひとり

約200人にひとり
約300人にひとり

家族のお世話の悩みを、相談したことがある	小学生（5・6年生）	ある	約30%
	中学生	ある	約17%
	高校生（全日制）	ある	約18%



ヤングケアラー支援は、3段階



- 気づき** いろんな人の目線で「いつもと違う」を見つける
 - ・いつも遅刻している
 - ・子どもが洗濯物を干している
- つなぐ** 周りの大人がアクションを起こす 疑いがあれば、ひとりで悩まず、連絡を！
- 見守り** 「家庭が見える」地域の強みを活かす いろんな人が継続して見守りをする！
 - ・何かあったら言ってね・見てるよ気にかけてるよ・「ほっとらいん」があるよ

松山市では、新しい取り組みヤングケアラー支援体制強化事業として、保健師・元校長・社会福祉士などヤングケアラー・コーディネーター5名が専門相談員として活動中とのことです。今回の研修で、「家庭が見える」地域の強みを活かして、気づきのアンテナを張り、見守りをしていきたいと思いました。

松山市 こども家庭センターの運営が始まりました！

児童福祉法の改正により、令和6年4月以降、母子手帳の窓口と児童福祉の窓口が連携・協働して一体的な相談支援を行うことを目的に、全国の市町村で「こども家庭センター」の運営が始まりました。

こども家庭センターでは、全ての妊産婦や子育て世帯、18歳までのこどものさまざまな悩みに寄り添い、妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない継続的な相談支援を行います。

- 石井西地区の地域子育て相談機関です
 - すくすく・サポート南部（はなみずきセンター1階）
 - 石井保育園地域子育て支援センター
 - 松山認定こども園和泉 和泉保育園地域子育て支援センター
 - 松山認定こども園星岡地域子育て支援センター
 - 未来こども園地域子育て支援センター
 - 児童館 南部児童センター
- 子育てに関する疑問や悩みを、お気軽にご相談ください。

認知症講座プラス in 古川

ごみ分別トラブルを想定した声かけ訓練



金田由美子先生

6月2日（日）古川集会所で、『認知症講座プラス』を開催しました。今回は、愛媛県在宅介護研修センターのセンター長金田由美子先生にお越しいただき「認知症への理解と接し方」の講義の後、状況に応じた声のかけ方を学び、認知症の人を想定した声かけ体験を実施しました。



講義では、認知症を起こす原因や認知症の人の気持ちなど分かりやすく教えていただきました。「高齢者は薬物の排泄機能が衰えているため、常用量の薬でも症状が現れる場合があり、多種類の薬を併用している場合は特に注意が必要です。」と話されました。

また、介護施設での認知症の人の不思議な話として、事例を話され、長年の生活習慣は残っている、残された機能で生き活きと暮らすために、できるだけ生活習慣を変えない工夫や関わり方の重要性を話されました。本人には理解できない不快感を、行動・心理症状で表している場合が多いので、介護する人が、「何か変！」と思う感覚が大事で、その時すぐに「急に認知症が進んだ」とは思わないようにと話され、認知症について理解を深めることが出来ました。

古川防災訓練に参加しました！



6月23日（日）、古川集会所において防災訓練が開催され、民生児童委員も参加し、煙体験の後、松山南消防署の田畑さんより火災や大雨時の防災について、また女性防災士 門田侑子さんより地震についての講義がありました。防災意識の向上になるととてもためになるお話しでした。

線状降水帯…毎年大きな災害 地球は熱帯化→沸騰化に。6月には、各地で1番の記録的大雨を観測、今後どれくらい降るか分からないそれが当たり前になってきている。マイ・タイムラインアプリで気象情報や避難情報を確認し、家族やご近所さんと避難してみる事も大切。安心安全のため、行動に移せる人が助かる。

ライブ映像119番通報システムとは… スマホで119番→カメラ機能を使って、通報現場の状況を音声と動画で通報の見える化に。救急隊員から通報者への効果的な口頭指導を受けることができます。

火災原因の主なものは… 放火 タバコの火 料理の火 コンセント ストープ たき火 火遊び

どれもその防止対策は、家族みんなの心がけと日々の実践が大切です！

『今すぐはじめよう大切な人の命を守るためにできること』 ～能登半島地震ボランティア活動に参加して～

門田さんは、平成30年度から令和5年度まで松山市の防災・危機管理課に在籍し、普段は防災士としても活動されています。今回は、4月27日から7日間、珠洲市のボランティア活動に参加した経験から、被災地の状況やボランティアに行っていたことなど詳しくお話しくださいました。



門田侑子さん

『防災力をチェックしよう！』 持ち出し袋など準備しているご家庭は多いと思いますが、家族での決まり事を共有できていますか？ 皆さんもチェックしてみましょう。

口ハザードマップを確認している 口安否確認方法を決めている 口避難先までの避難経路を確認している 口地震／洪水が起きた時の避難先を決めている 口家の中の安全対策をしている 口非常持ち出し袋を用意している 口在宅避難に必要な備蓄（1週間分）をしている 口防災訓練をしている

いくつチェックできましたか？ 最後に「これ、やります！」宣言を各自記入をしました。私は、ハザードマップの確認と簡易トイレをチェック。消臭袋や凝固剤を買い足します。参加した皆さんはやりましたか？